

【様式1】 令和2年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	養老町	学校名	養老町立養老小学校		
校長名	早崎 京子	対象学年	3～6年生	人数	285人
項目 該当する項目に○をつける	○	①	小・中学校の関連性や発展性を踏まえた実践や、幼保園、高等学校、特別支援学校等と連携を図った実践		
	○	②	県内施設や地域人材等の外部資源を活用し、岐阜県が誇る自然・歴史・文化・産業等の体験を通して学ぶ取組を効果的に位置付けた実践		
	○	③	ふるさと学習を核として、総合的な学習の時間と各教科、特別の教科道徳等との関連を図った教育課程を編成し取り組んだ実践		
活動のねらい	地域の人・自然・文化にかかわっていく学習を通して、自分やふるさとのことをよく知り、伝え合うことができる。				
<p><活動の特色と成果></p> <p>各学年の発達段階に即したテーマを設定し、地域の自然や文化、産業、それらに関わる人材を活用し、体験を通して学んでいる。</p> <p>3年 養老町のひみつ発見「養老町のひみつ・名人・特産物を見つけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老町の特産物である瓢箪を栽培し、育てる苦労や収穫する喜びを味わう中で、瓢箪のランプづくりに挑戦し、ふるさとの自然や産業のよさを体感する。 →大垣養老高校の先生と生徒に実演を見せてもらい、アドバイスをいただくことで、瓢箪の栽培方法だけでなく、瓢箪の加工の仕方や地域の特産品について関心を深めることができた。 <p>4年 滝が教えてくれること「養老町の滝をめぐる不思議を調べよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な滝や川の様子を観察し、パックテストを通して川の水質を調べて比較することで、養老町の水や自然の美しさを体験的に学ぶ。 →養老の滝や石畑川、金草川、五日市川を調べる中で、水のみしさだけでなく、自然の美しさを体験することができ、養老町の自然の豊かさを再確認することができた。 <p>5年 養老山探検隊「養老山の自然を見つけ調べよう」「環境を守る大切さを伝えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老山の様子を観察したり、森や樹木に詳しい方から話を聞いたりして森林の役割を知り、環境保全について考えたことを発信する。校庭の樹木観察をもとに樹木の図鑑を作り発信する。 →身近な養老山や校内の樹木、森と人とのかかわりについて、樹木医や森林環境学習コーディネーターからの具体的な説明や観察を通して、森林保全について問題意識を高め、木に親しみ活用することの大切さを発信していくことができた。（2月に木のアクセサリー作り体験を予定） <p>6年 お年寄りを大切にす町 養老「お年寄りとおふれ合おう」「オペレッタ『養老物語』を創ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑似体験を通して高齢者福祉について自分とのかかわりから考え、共に生きる社会の実現への努力、「親孝行の町 養老」で生きていく決意をオペレッタに表現する。 →4年間の「よろろタイム」で学んだことを創作音楽劇『オペレッタ養老物語』（2月）に表現することにより、お世話になった地域の方やお年寄りにふるさと養老への愛着と感謝の思いを発信していく。（今年度はDVDやケーブルテレビ等を活用して発信していく予定） <p><児童の変容・地域の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動が制限される中、各学年工夫を凝らした活動でふるさとのすばらしさを学び、ふるさとへの愛着や誇りを深めている。今年度は3年生において、瓢箪を実際に栽培する中で近隣の養老高校の先生と生徒を講師に迎え、栽培の助言をいただくだけでなく、収穫した瓢箪を加工してランプづくりを教えていただいたことで、ふるさとの自然や産業を大切にしていこうとする思いが一層高まった。 ・オペレッタを参観された地域の方の声（昨年度末）。「かつて自分の子どもが演じた『養老物語』を20数年の時を経て、今度は孫が同じ『養老物語』を演じるなんて当時は想像もしませんでした。子どもたちの一生懸命に演じ、歌う姿にとっても感動しました。涙が出ました。…」 「…今まで学んだ『ふるさと養老』の素敵なお話をたくさん知り、改めてすばらしいと感じることができました。ありがとうございました。」 					

